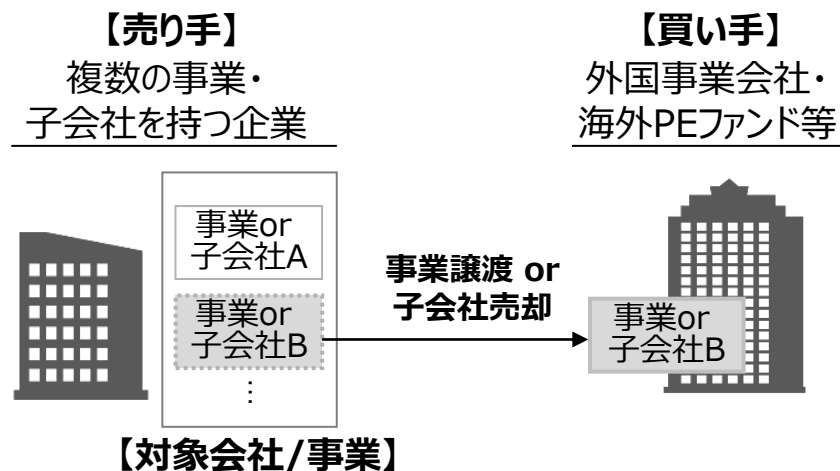


パターンAの解説・特徴（子会社売却・事業譲渡（カーブアウト））

定義・特徴

- 主に大企業が、事業ポートフォリオの見直しや財務改善を企図してグループ内の子会社や一部の事業を売却し、事業譲渡（カーブアウト）を行うパターンである
- M&A実施後、対象会社にとって、グループ離脱に伴う戦略的な裁量の向上や従業員の意識変革、ノンコア事業としては難しかった投資や研究開発の実行が可能になるなどの特徴がある

スキームイメージ



具体例

- 日立機材×カーライル
 - 日立金属【売り手】による、子会社日立機材【対象会社】のカーライル【買い手・PEファンド】への売却
- オムロン直方×アドバンテック
 - オムロン【売り手】による子会社オムロン直方【対象会社】のアドバンテック【買い手・事業会社】への売却

概況

- 企業の持続的成長を実現させる事業再編の促進（2020年度経済産業省による事業再編実務指針の策定）
 - 企業が持続的な成長を実現していく上では、経営資源をコア事業の強化や成長事業・新規事業への投資に集中させることが必要であり、このような経営資源の移行を円滑に進めるためには、事業ポートフォリオの見直しとこれに応じた事業再編の実行が急務である
 - 経済産業省の「事業再編実務指針」では、持続的な成長や中長期的な企業価値の向上を図るべく、事業再編を促進するという観点から、経営陣、取締役会、投資家の3つのレイヤーを通じた、コーポレートガバナンスの在り方等を整理した